

ComEX は 2012 年 6 月に発刊されたオープンアクセスのレター誌で、通信の全領域を対象の分野としています。常に丁寧かつ迅速な査読を意識することで、投稿から 1 月以内 (平均値・2019 年度実績) に判定を返すことができおり、採択率は 45.5% (2019 年度実績) となっています。ComEX は速報性を最重要視しており、アイデアベースの論文は大歓迎ですが、ComEX に投稿することに壁を感じられている方も少なくないようです。実際、研究の完成度に自信がない、という理由で投稿を躊躇されるという話も耳にしております。一方、ComEX は迅速な査読と速報性を実現するために、あえて文字数を 1500 ワードまで、図・表・アルゴリズムの数を 3 つまでと制限しております。この条件は、ソサイエティ大会・総合大会で発表されるほとんどの論文で満足されていると思われる。つまり、大会原稿の図・表は大きく変えることなく、文章をブラッシュアップすれば、ComEX に投稿できるわけです。

以上の考えに基づき、ComEX 編集委員会は、2020 年総合大会を主な対象とした大会特集を企画しました。投稿期間中、いつでも、何度でも投稿することができます。採録／不採録のバイナリ判定を査読システムに導入していますが、一度不採録判定になった場合でも適切に修正した論文を投稿受付締切日までであれば、本特集に何度でも再投稿できます。大会で発表された研究内容を、世界へ発信できる良い機会でもあります。是非 ComEX に投稿して頂ければと思います。2020 年総合大会発表以外の内容の投稿も受け付けます。

1. 対象分野

本特集は通信分野の全領域を対象分野としています。例えば、次のようなトピックが挙げられます (ただし、これらに限定しません)。通信基礎理論、電子通信におけるエネルギー、通信のための伝送システム及び伝送装置、光ファイバ通信、通信のための光ファイバ伝送、ネットワークシステム、ネットワーク、インターネット、ネットワークマネジメント／オペレーション、アンテナ伝搬、電磁両立性 (EMC)、無線通信技術、地上無線通信／放送技術、衛星通信、センシング、ナビゲーション、誘導管制システム、通信のための宇宙利用システム、通信のためのマルチメディアシステム。

2. スケジュール

投稿受付開始：2020 年 4 月 1 日 (JST)

投稿受付締切：2020 年 6 月 30 日 (JST)

投稿受付開始後に投稿された論文は受理後直ちに査読プロセスが開始され、査読結果が確定次第、判定報告が著者に通知されます。不採録判定になった場合でも、投稿受付締切日までであれば、適切に修正した論文を本特集に何度でも再投稿できます。

3. 論文執筆と投稿方法

原稿の本文は 1500 ワードまで、図・表・アルゴリズムは最大 3 つまでに制限されています。詳細は最新版の “Information for Authors.” を御参照下さい。 http://www.comex.ieice.org/data/for_authors.html (特に novelty の段落を御確認下さい)。投稿受け付け直後に査読プロセスが開始されます。

修正原稿を再投稿される場合は、査読プロセスを円滑に進めるために、前回投稿時に割り当てられた manuscript ID を明示し、査読コメントに対する “Reply Letter” を付加することを推奨致します。採録された論文は article charge の支払いが ComEX 出版事務局によって確認され次第、advance publication として IEICE ComEX ウェブサイトで公開されます。

また、全ての採録された論文は 2020 年 12 月 1 日に特集として IEICE ComEX ウェブサイトに掲載されます。

ComEX は公式フォーマット (LaTeX スタイルファイルまたは Microsoft Word テンプレート) に基づいたレター形式の原稿の電子投稿のみを受け付けます。電子情報通信学会のウェブサイト https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx から原稿と電子版のソースファイル (LaTeX/Word ファイル, 図) を提出して下さい。投稿の際、“Journal/Section” として [in Conjunction with IEICE General Conference 2020] を選択して下さい。[Regular-XB] を選択されませんよう御注意下さい。

問合せ先：上山憲昭

福岡大学工学部

E-mail : comex-ss-gc2020@ml.ieice.org

4. 特集編集委員会

編集委員長：関屋大雄 (千葉大)

編集幹事：林 和則 (阪市大), 上山憲昭 (福岡大)

編集委員：張 裕淵 (東工大), Chiao-En Chen (National Chung Cheng University), Young-June Choi (Ajou)

University), Chun-I Fan (National Sun Yat-sen University), Mariusz Glabowski (Poznan Univ. of Tech.), Bo Gu (Sun Yat-sen University), Guan Gui (Nanjing University of Posts and Telecommunications), 原井洋明 (NICT), Ezra Ip (NEC Laboratories America), 久保博嗣 (立命館大.), 窪田歩 (KDDI 総研), Zhetao Li (Xiangtan University), Richard T.B. Ma (National University of Singapore), Tzyh-Ghuang Ma (National Taiwan Univ. of Sci. and Tech.), 松本隆太郎 (名大, Aalborg Univ.), 森野博章 (芝浦工大), Hoang Nam Nguyen (Vietnam National University Hanoi), 尾形わかは (東工大), 小川将克 (上智大), Chuwong Phongcharoenpanich (King Mongkut's Inst. of Tech. Ladkrabang), Nordin Ramli (Malaysian Inst. of Microelectronic Systems), 齋藤健太郎 (東工大), 関谷勇司 (東大), 杉山隆利 (工学院大), 高橋英憲 (KDDI 総研), 山口 良 (ソフトバンクモバイル), 山本秀人 (NTT), Hui Zhang (Nankai University), Miao Zhang (Xiamen Univ.)

- * 投稿時に “Copyright Transfer and Article Charge Agreement” の手続きをする必要があります。
- * 論文が採録された際には、掲載料が必要となりますので、予め御了承下さい。
- * 投稿時に少なくとも 1 名の著者が電子情報通信学会の会員である必要があります。電子情報通信学会の非会員の著者の方はこの機会に本会への入会を是非御検討下さい。入会はこちらから
https://www.ieice.org/eng_r/join/individual_member.html